3　店ではたらく人

家の人たちは、ふだん、どこの店で、どんなものを買っているのでしょうか。さつきさんたちは、最近、家の人がした買い物のことについて思い出しながら、話し合いました。

お母さんは、S店で、ぶた肉と玉ねぎを買ってきたよ。

お父さんは、家の近くのコンビニで、パンと牛乳を買っていたよ。

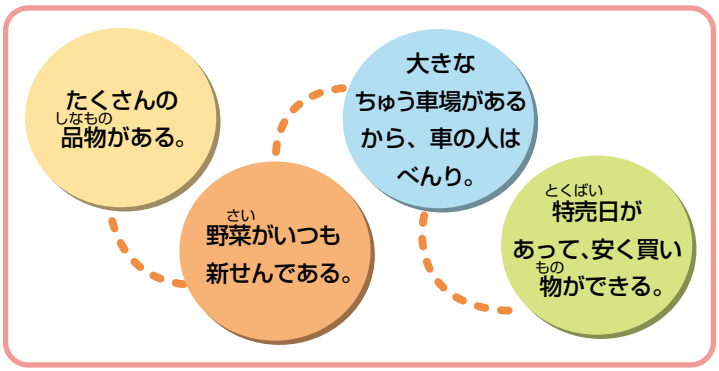
みんな、砺波市に住んでいるのに、買い物をしている店がちがうのは、どうしてなのかな。

家の人がよく買い物に行く店は、決まっているのかな。

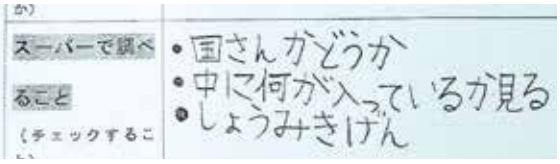
（1） 買い物調べをしよう

さつきさんのクラスでは、家の人たちの買い物調べをしました。そのけっかスーパーマーケットで買い物をする人が多いことがわかりました。

そこで、スーパーマーケットについて見たり、聞いたりしたことをもとに、スーパーのよいところをみんなで話し合いました。



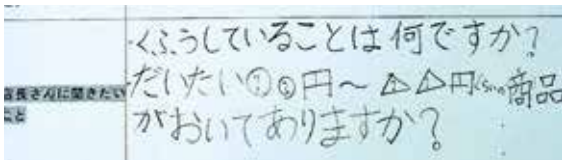
スーパーマーケットのよいところをもっと知りたいな。



スーパーマーケットのよいところをくわしく知るために見学に行くことにしました。

調べたいことをメモにまとめてみましょう。

見学メモ



(2) 見学に行こう

店の人の工夫や努力

店員さんのあんないで、店の中を見学しました。売り場でも、とびらのむこうでも、たくさんの人がはたらいていました。

店の人にインタビューしてみました。

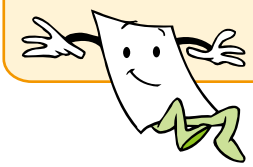
並べ方

品物が見やすいように、種類ごとに並べていきます。

品切れにならないように気をつけています。足りなくなったらおくから運んでならべます。

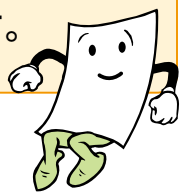
地域のやさいコーナー

「地産地消」(地域でせいさんされた農作物をその地域で買うこと)コーナーを設けて新せんな野菜を売っています。



ねだん

お客さんがえらびやすいようにねだんや品物の名前を大きく書いて見やすくしています。



とびらのむこう

お客さんに気に入ってもらえるようなおそうざいを工夫して作っています。また、おいしそうに見えるようにパックにつめています。

店長さんにもどんなことに気をつけているかインタビューしました。

店長さんの話

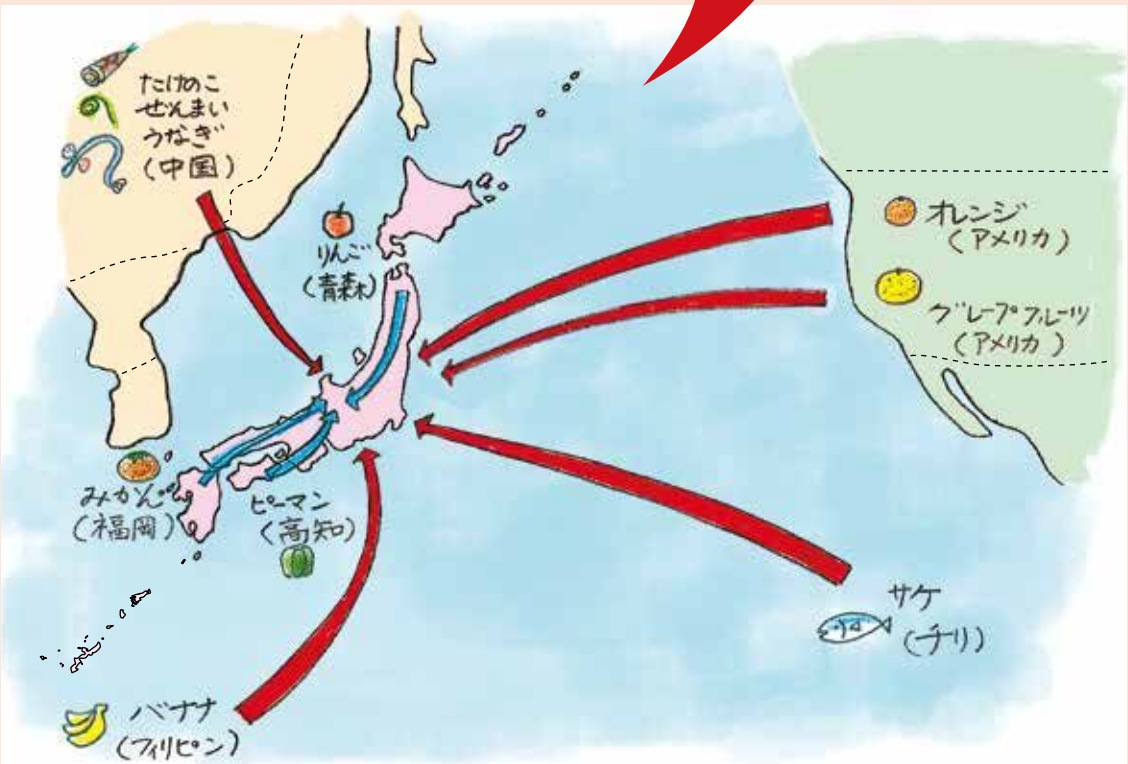
たくさんのお客さんが買ってくださる食料品をあつかっているので、店員はいつも清けつをこころがけています。

お客さんには気持ちよく買い物をしてもらえるよう、えがおも大切にしています。

品物はどこから

さつきさんたちは、店で売られている品物がどこから運ばれてきたのかを調べ、地図にまとめました。

いろいろなところから運ばれてくる品物



「近くの地域だけでなく、他の県や外国からも品物が運ばれてくるんだね。」

店長さんの話

店にある品物は、すべてコンピュータでかんりされています。何がどれだけ売れたかを調べて、次に注文する数をきめています。レジもコンピュータとつながっているんですよ。

（3） お客さんのねがいをかなえるために

お客さんが買い物をしやすいように、スーパーマーケットではどのような工夫をしているのでしょうか。

お客さん

家で魚をさばいたり、大きい果物を切ったりするのはたいへんなので、手間のかからない品物がほしいです。

魚は、お店でさばいて刺身として売っています。また、お客さんの希望を聞いて、魚をさばいたり調理したりすることもあります。すいかなどの大きな果物は、食べやすい大きさに切って、パックにつめて売っています。

お客さん

家族の人数に合わせて、ほしい分だけ買えるようにしてほしいです。

お客さんがひつような量を買えるように、品物をまとめてパックづめしたり、１こずつのものを用意したりしています。

お客さん

環境のことを考えて、食品が入っていた紙パック、食品トレー、アルミ缶、ペットボトルなどをリサイクルできるようにしてほしいです。

お店の中に、トレーの回収箱を用意して買い物のついでに出せるようにしています。回収した一部は、ふたたび商品化します。

その他にもこんな工夫が！

お客さんが買い物をしやすいように、商品を入れるかごやカートを入口付近においておきます。

遠い所から来た人も買い物しやすいように、たくさんの車をとめられる広い駐車場を用意しています。

(4) じょうずな買い物をするために

じょうずな買い物をするために、どんなことに気をつけたらよいか考えてみましょう。

マイバッグ・エコバスケット

マイバッグやエコバスケットをもっていくと、レジ袋を使わずにすむね。

レジ袋のもとになる石油のむだづかいをふせいだり、ごみをへらしたりすることになるね。

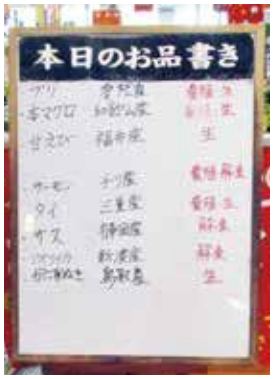
つめかえ商品

中身をつめかえると、容器はそのまま使えるよ。容器に使われるプラスチックをむだにしなくてすむね。

賞味期限や品質表示

品質表示を見ると作られた場所や保存方法がわかるよ。

賞味期限を見て新せんで安全なものを選びたいね。



インターネットでの買い物

インターネットでの買い物は、お金はあとで払うよ。必要かどうか、お金を払えるかどうか考えて買い物をしたいね。

移動販売車での買い物

トラックで、日用品や食品を運び、販売するよ。家の近くで必要なものを買うことができて、べんりだね。

ひつようなりょうだけを買うとごみをへらせるね。

新せんさや安全にも気をつけて買いたいね。

お店の人は、お店のもうけだけでなくて、環境のことも考えて、品物を売っているよ。

買う側も、環境のことを考えながら買い物をしたいね。

4　安全なくらしとまちづくり

交通安全教室

みんなの安全を守るために、どんな仕事があるのかな。

放水くんれん

救助くんれん

（1）火事をふせぐ

学校やまちにはどんな消防しせつがあり、どんなことが行われているのでしょう。

消火器

消火栓

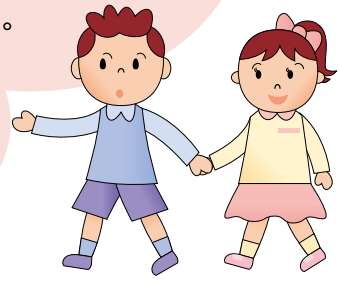
けむり感知器

熱感知器

採水口

校舎の地下に貯水槽がある学校もあるんだ。火を消すときにそれが使われるようになっているんだ。

「消火栓」といって、ホースを取り付けると水がでてくる仕組みもあったよ。

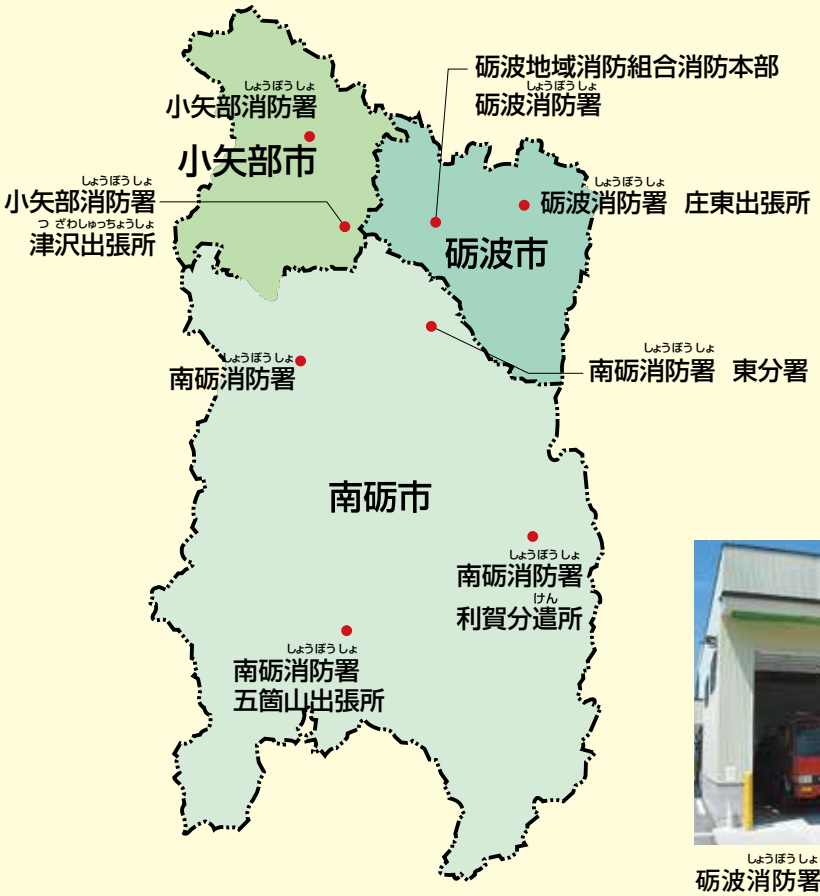


ただしさんのお父さんは、地区の消防団員です。消防団の方は、火事のときに消防署の方と協力して火を消したり、地域で防火を呼びかけたりしていらっしゃいます。

消防団員のかつやく

消防署はどこにあるでしょう。

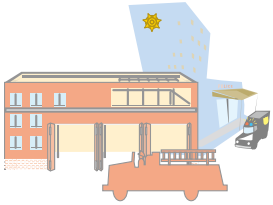
砺波地域にある消防署



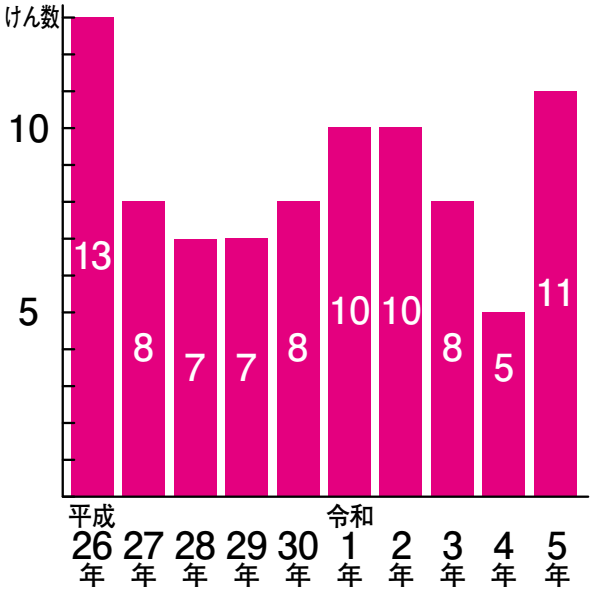
砺波消防署 庄東出張所（砺波市頼成）

砺波地域消防組合消防本部　砺波消防署（砺波市大辻）

あゆみさんたちは、じっさいに消防署に見学に行って調べることにしました。



火災発生けん数（砺波市）



県西部消防指令センター（高岡市）にある通信指令室

この部屋で連絡を受け、消防車や救急車が出動するんだね。

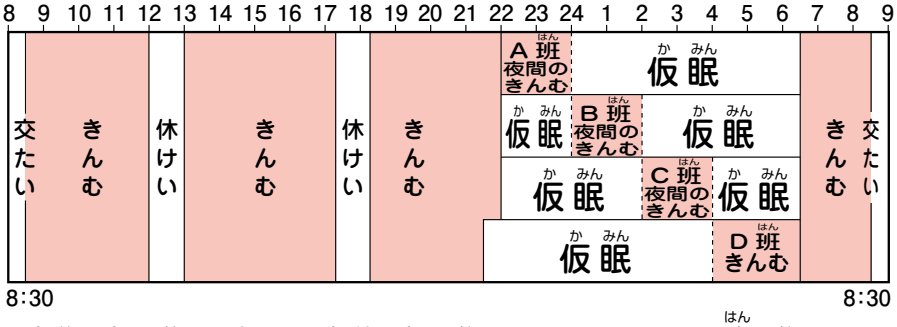
消防署員のきんむサイクル

	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
Aさん	↔		↔		↔		休	休	↔		↔		↔		休	休

↔ は、朝8時30分から次の日の朝8時30分まで

砺波消防署のきんむの予定表

夜間勤務



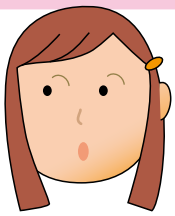
午後9時30分から次の日の午前6時30分までは、A,B,C,Dの4班に分かれて、交たいきんむします。

消防署は24時間火事にそなえているんだね。

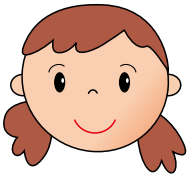
仮眠室

ロッカーにかけてある消防服

ふとんがしけるようになっているよ。夜は仮眠できるようになっているんだ。



消防署にはどんな自動車があるのでしょう。



火事の様子や仕事に合わせていろいろな自動車が出動するんだ。

消防ポンプ自動車

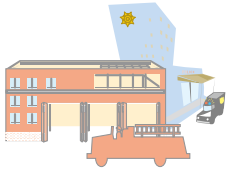
救助工作車

指令車

はしご付消防ポンプ自動車

救急車とその中の様子

あゆみさんたちは、火事のないときにはどのような仕事をしておられるのか質問してみました。



救助くんれん

地いきの人との消火くんれん

放水くんれん

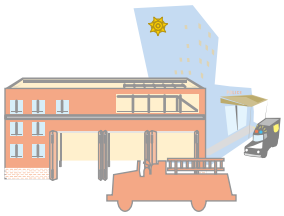
消火器使用くんれん

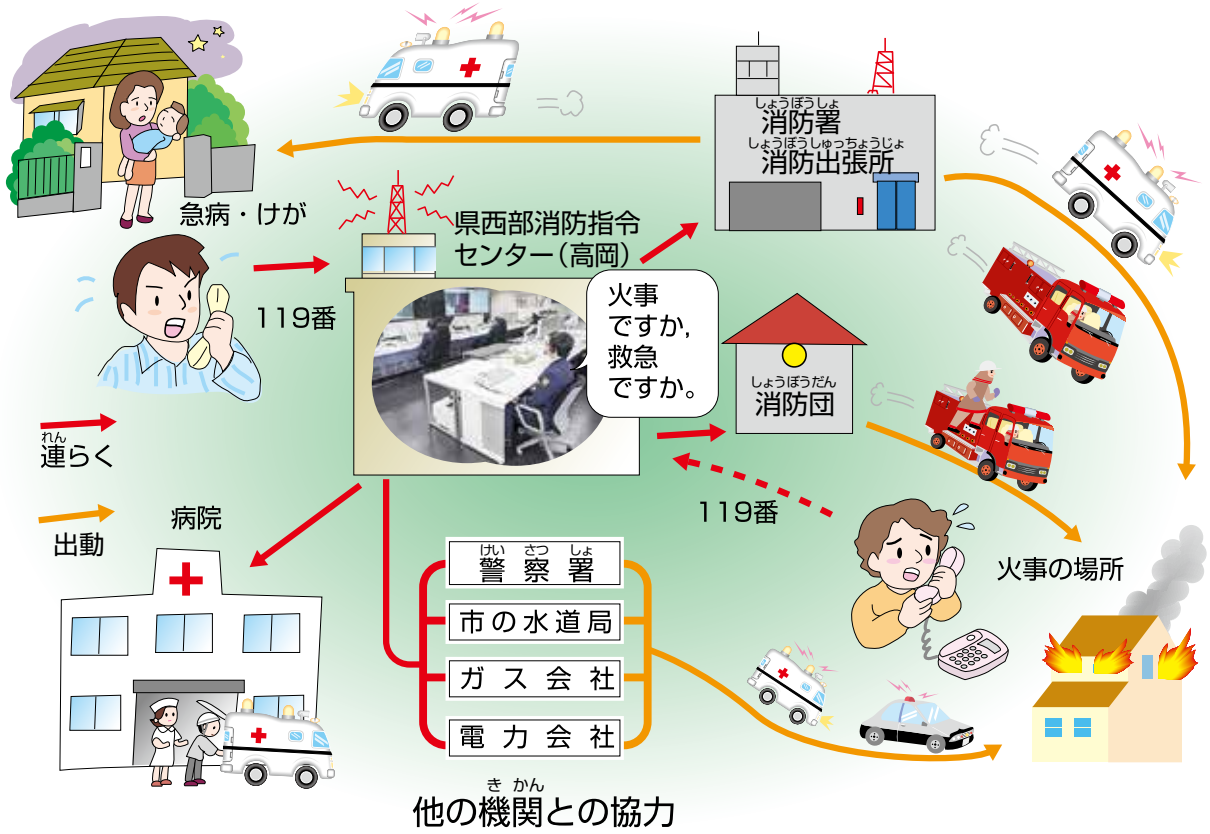
救命こうしゅう会

その他

- 消防しせつや器具の点けん
- 火さい予防のよびかけ

119番のしくみはどうなっているのでしょう。



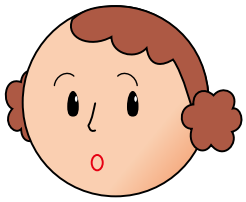


正しい119番通ほうのしかた

①火事か救急か、はっきり伝える。
②場所を伝えるときには、住所のほかに、近くの目印も伝える。
③もえている物は何かを伝える。

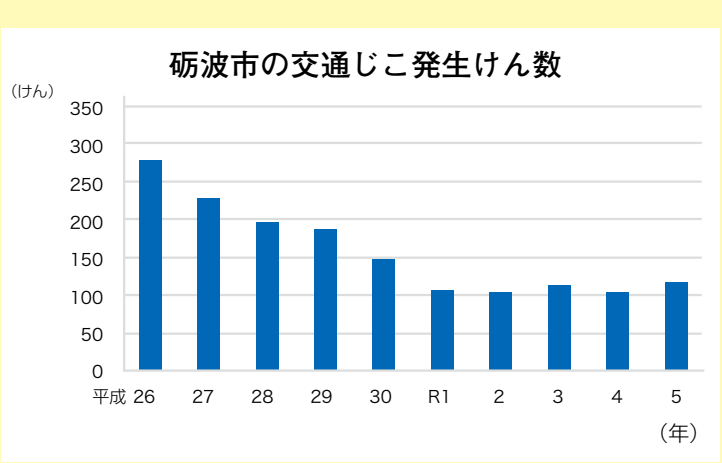
●交通じこ、事件のときは110番
・・・警察署
●火事、病気やけがのときには119番
・・・消防署
●海のじこのときには118番
・・・海上保安庁

調べてきて、もし、わたしの家が火事になってしまっても消防署の方がきっと守ってくれると思いました。でも、まず、火事を起こさないように一人一人が気をつけることが大切です。



(2) 交通じこをふせぐ

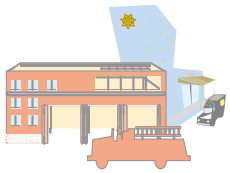
交通じこをふせぐためにどんなことが行われているのでしょう。



さとしさんの学校では、毎年交通安全教室や自転車の乗り方教室が開かれます。

警察署の方が、１年間の交通じこの発生けん数や交通のきまり、安全な自転車の乗り方について教えてくださいます。交通じこから子どもたちを守るために分かりやすく話してくださいます。

しせつを調べてみよう



さとしさんたちは、学校の周りを歩いて道路の様子や交通じこをふせぐためのしせつの様子について調べました。

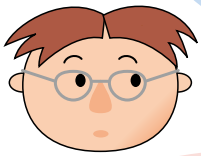
「自転車および歩行者専用」の標識

地下横断道

ガードレール

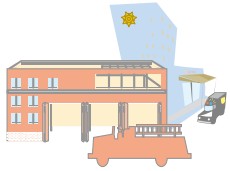
点字ブロック

歩行者や自転車がけんなめにあわないような工夫がしてあるね。



目の不自由な人も安全に歩けるような工夫もしてあるわ。

警察官の仕事を調べよう

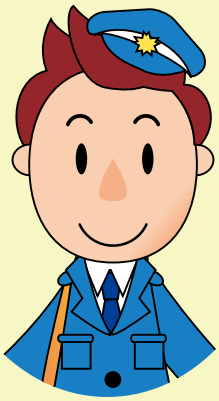


まちを歩いているとき、さとしさんたちは警察官の方を見かけました。警察官の方はどのような仕事をしていらっしゃるのか調べようと、警察署の方にお話をうかがいました。

警察署の方のお話

警察の地域交通課では、スピード違反や駐車違反を取り締まったり、学校や保育所、認定こども園で交通安全教室を開いたりして交通じこが起こらないようにしています。刑事生活安全課では、「防はん教室」を開いて万引防止をよびかけたりふしんな人に会ったときどうするかについて広めたりしています。

また駐在所の警察官は、地域の人たちが安全で安心してくらせるように、地域のパトロールを行ったり、道あん内をしたり落とし物の受け付けをしたりして、24時間仕事をしています。パトカーでのパトロールは一日に3回から5回行っていますよ。

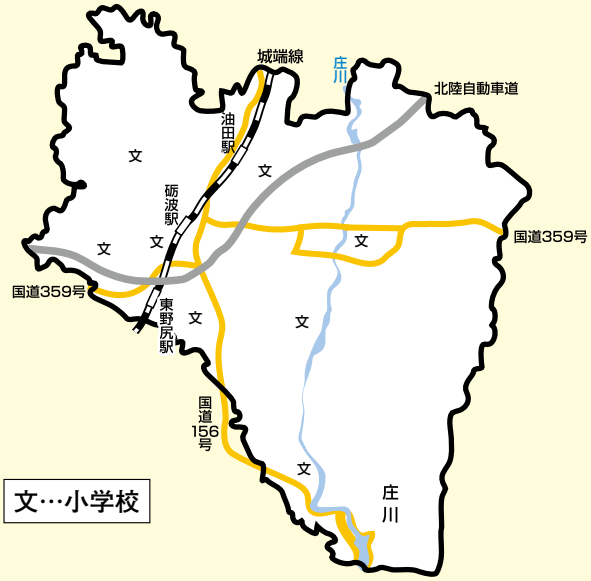


防はん教室

パトカーでのパトロール

警察署・駐在所はどこにあるでしょう。

砺波地域にある警察署・駐在所

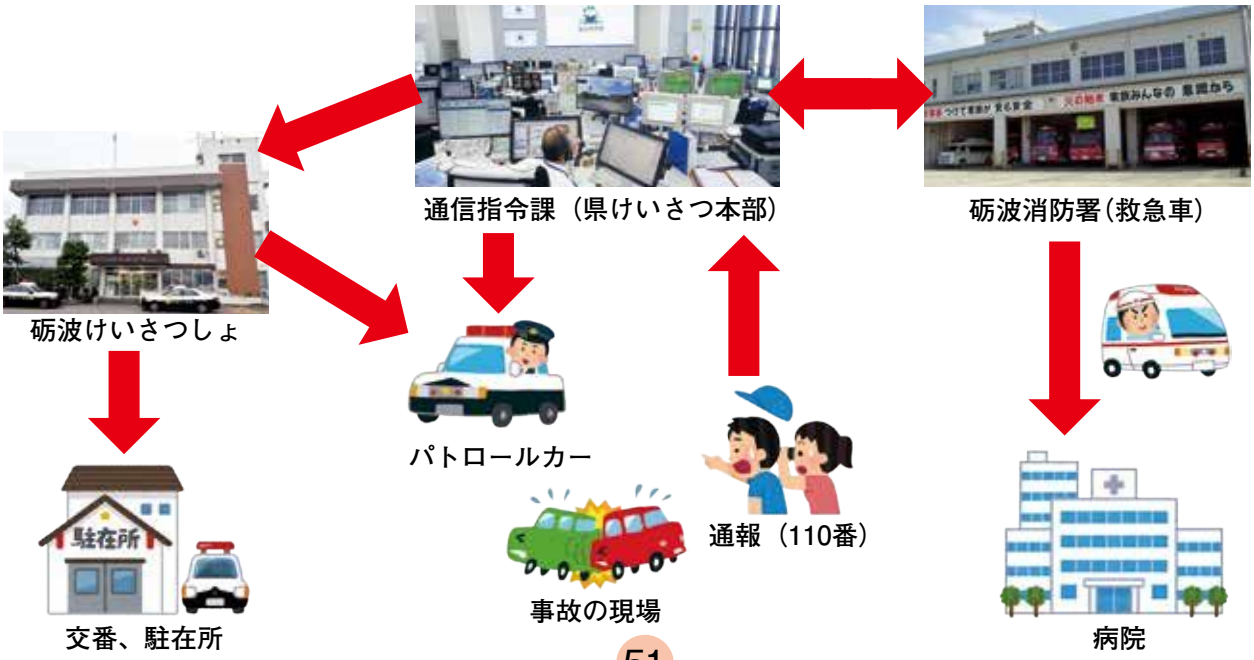


富山県砺波警察署　春日町1番21号

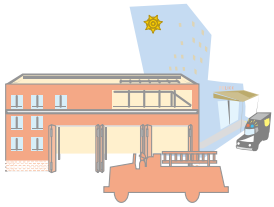
- ○鷹栖駐在所　鷹栖1020番地2
- ○東野尻駐在所　苗加963番地45
- ○五鹿屋駐在所　五郎丸1169番地4
- ○中野駐在所　中野1120番地
- ○庄東駐在所　頼成397番地
- ○庄西駐在所　柳瀬955番地2
- ○北部駐在所　林1018番地3
- ○栃檀野駐在所　福岡90番地
- ○庄川駐在所　庄川町青島3466番地

富山県警察本部には通信指令課があり、じこやじけんが発生したとき、近くの警察署や交番に知らせ、すぐに現場にかけつけることができるような仕組みになっていることも聞きました。

交通じこしょりのしくみ（砺波市で事故が起きたら）



わたしたちの安全を守るために、地域ではどんなことをしておられるのでしょう。



防はんパトロールの自動車

看板

見守り隊の方

こども110番の家の目印

校区の方々が、見守り隊として、わたしたちの安全を考えて通学路に立ってくださったり、いっしょに歩いてくださったりしています。最近、いろいろなじこやじけんがあるので、ありがたいことだと思います。

5　市のうつりかわり

（1）市の様子と人々のくらしのうつりかわり

100年前と今のまちや道具の様子をくらべてみよう

●変わったことは何かな。
●どのように変わったかな。

まちとともにくらしの
様子もかわったのかな。

←約100年前の砺波

←今の砺波

約100年前 ⟶

◆ 交通のうつりかわり

出町駅前に馬車が走っていたよ。

大雨になると庄川があふれ、橋が流されて通れなくなることもあったよ。

◆ くらしのうつりかわり

村のよろずやで買い物をしたね。

兄妹が多く、子もりが仕事だったな。

紙芝居があると、みんなで見に行ったね。

家にテレビがなく、電気屋でテレビを見る人が多かったね。

約50年前 ──▶

1969年（昭和44年）城端線が蒸気機関車からディーゼル機関車にかわったよ。

1973年（昭和48年）高速道路ができたよ。

かりとった稲は地干しもしていたよ。

耕運機で田を耕したね。

夢の平スキー場はシングルリフトだったね。

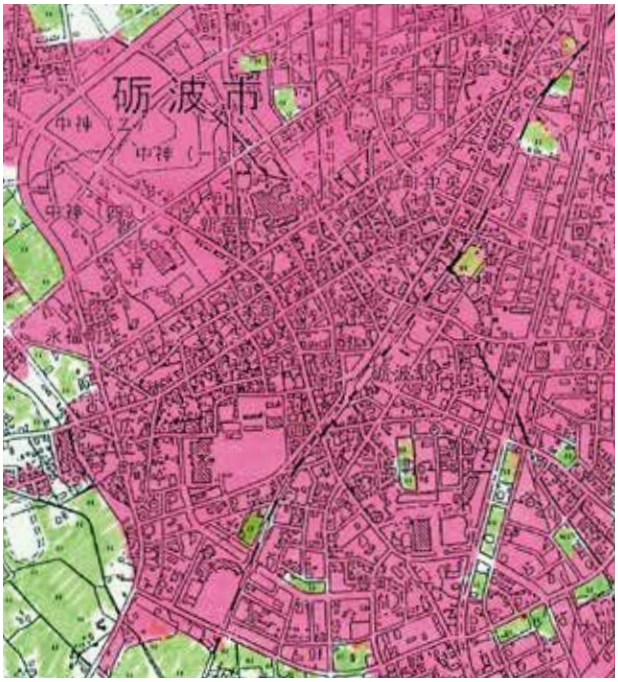
1981年（昭和56年）の大雪では、2階まで積もったよ。

昔と今のまちの様子を地図でくらべてみよう

昔のことにきょう味をもったさつきさんは、昔の地図を見つけ、今の地図とくらべてみました。

昔（およそ100年前）のまちの地図

今のまちの地図



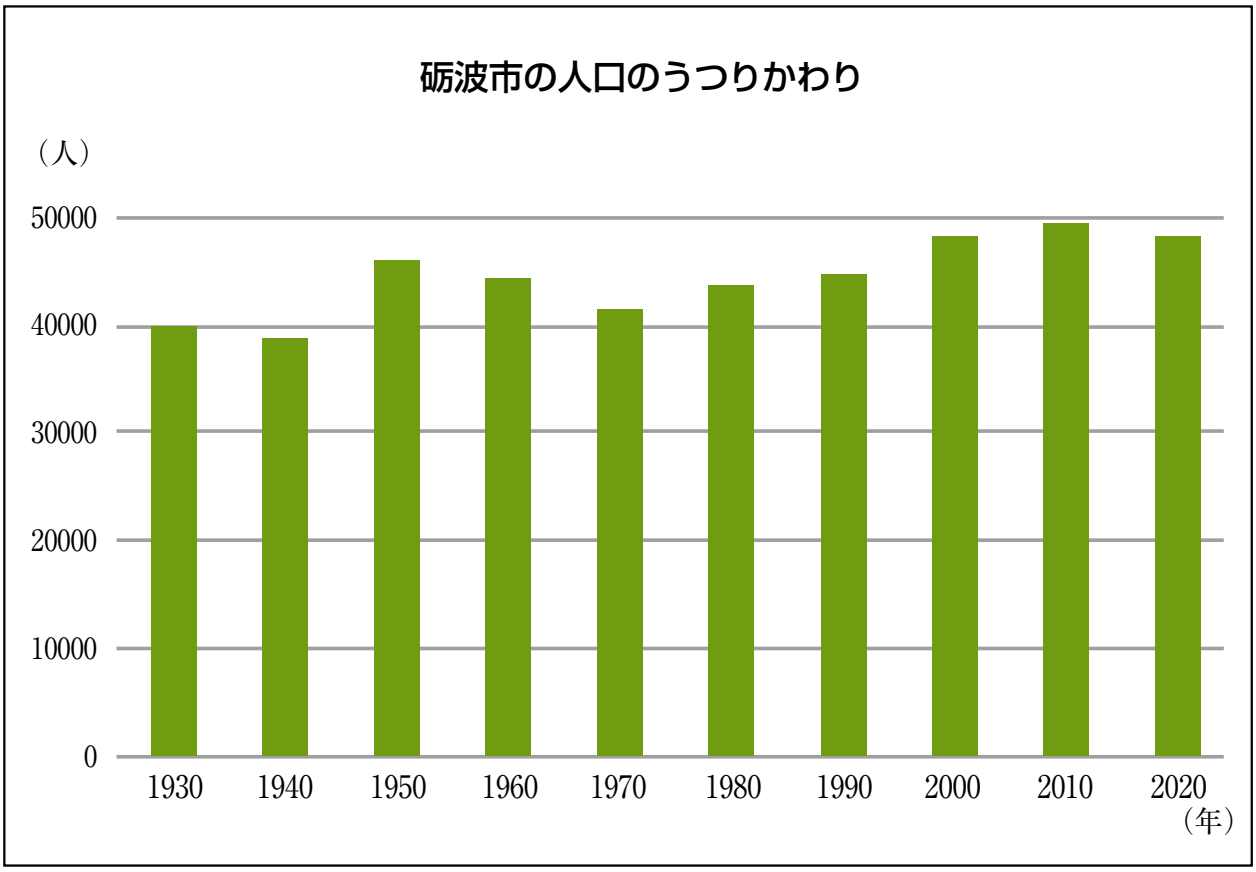
家や店の多いところ　田　畑

文 小・中学校　神社　卍 寺

人口のうつりかわりをグラフで調べてみよう

たかしさんは、砺波市の人口のうつりかわりを調べて、グラフをつくりました。

砺波市の人口はどのくらいかわったのかな。



人口がふえると、いろいろなしせつがひつようになるね。

公共施設のうつりかわりを写真でくらべてみよう

市や国などが集めた税金で、みんなのための公共施設がつくられています。

砺波体育センター

移転

2018年10月13日開館

砺波体育センター

体育館（バスケットコート2面分の広さ）

会議室（いろいろな団体が会議や講義にも使える）部屋

体育館の２階にはランニングロードが設置され、広くて走りやすいです。また、駐車場も広く、たくさんの人が利用できます。

砺波図書館

移転

2020年11月1日開館

砺波図書館「となみっけ！」

図書館全体

図書館1階

読書をしたり、学習をしたりする場所もあり、ゆったりとした空間が広がっているので、落ち着いて過ごすことができます。床には、大きなチューリップが隠れています。

(2) 昔の道具

道具から、昔のくらしの様子を調べよう

みゆきさんは、学校の資料室で昔の道具を見つけ興味をもちました。

学校から見学に行った、散居村ミュージアムや民具展示室（庄東小学校）では、昔の道具にたくさん触れたり、体験したりしました。「この道具どうやって使うのかな。」「わらじってとても軽いね。」「いつごろ使っていたのかな。調べてみよう。」と係の人から昔の道具やくらしについて話を聞きました。

散居村ミュージアム

「脱穀機を使って自分たちの力で稲から米を収穫していたんだね。」

砺波民具展示室

「わらじを結ぶのに時間がかかるね。歩くとちくちくしてちょっと痛かった。」

脱穀機

わらじ

とうみ

石臼

砺波民具展示室（庄東小学校）

市のうつりかわりをまとめよう

たろうさんは、グループのみんなと市や人々のくらしのうつりかわりを年表にまとめました。

		道具	くらしのようす	できごと
明治	130年前			○ 中えつ鉄道（今の城端線）ができた。
	120年前			○ 電とうがついた。 ○ 電話がひかれた。
大正	110年前	ランプ つるすので、たおれる心配がない。持ち運びができる。		○ しょうげでチューリップづくりがはじまった。
	100年前			○ アメリカから青い目の人形がおくられてきた。 ○ 小牧ダムができた。 ○ 合口ダムができた。
昭和	90年前			
	80年前	電とう 電球のかさがとてもあつくなるので注意。		○ せんそうが終わった。 ○ チューリップフェアがはじまった。
	70年前			○ 砺波市ができた。 ○ 庄川町ができた。
	60年前	けい光とう ぼうや円などの形がある。とても明るい。		○ テレビほうそうがはじまった。
	50年前			○ 高そく道ろができた。
	40年前			○ 文化会かんができた。 ○ 水記念公園ができた。
平成	30年前			○ チューリップ国際彩かんができた。
	20年前	LEDライト 広い部屋もより明るくてらす。		○ 庄川町と砺波市がいっしょになり、新しい砺波市ができた。 ○ となみ散居村ミュージアムができた。
	10年前			
令和	今			○ 市役所のたて物を新しくすることについて話し合っている。

6　住みよいくらしをつくる

毎日たくさん使う水道水

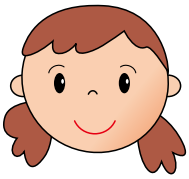
健康に生活するために水とゴミの２つから学習しよう。

ごみ収集車

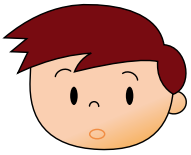
（1）水はどこから

富山県は、水の豊かな県です。砺波市を流れる庄川の水は、わたしたちの生活を支える大切な資源です。その水によってわたしたちは、健康で便利な生活をおくっています。

「学校には、水道のじゃ口がたくさんあるね。」



「家では、水をどれくらい使っているのかな。調べてみよう。」



「水はどこからきているのかな。飲めるようにするためにどんなことをしているのかな。」

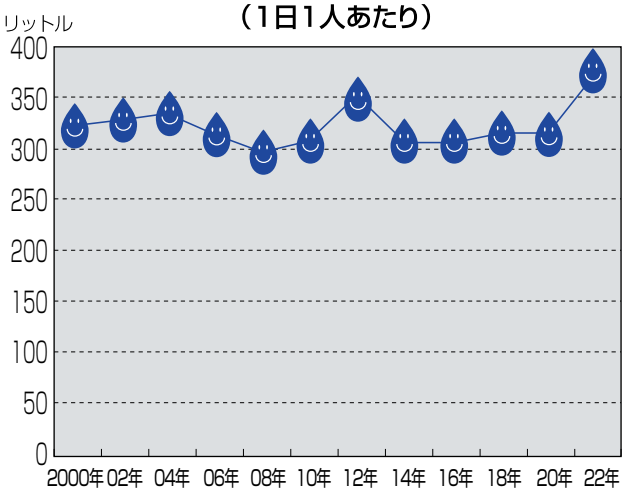
合口ダム（砺波市庄川町金屋）

水をたくさん使っているね

学校のじゃ口の数を数えたり、家でどれくらい水を使っているのか調べたりしました。また、砺波市役所の上下水道課で聞いてみました。市民一人あたり１日に使う水の量は、約300リットル以上にもなることが分かりました。

学校のじゃ口の場所調べ

砺波市の給水量の変化
（1日1人あたり）



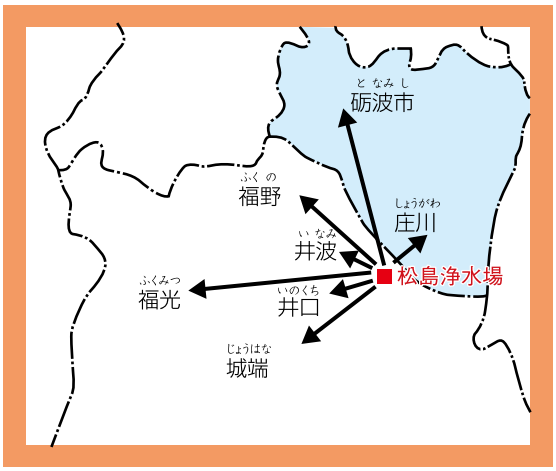
水はどこから

砺波市の家庭や学校で使う水道水は、どこからきているのかふしぎに思い、市役所の方に聞いてみました。すると、南砺市にある松島浄水場（砺波広域圏事務組合水道事業所）から送られてくることが分かりました。そこで、松島浄水場を見学する計画を立てました。

松島浄水場（南砺市松島）

松島浄水場では、砺波市と南砺市の一部（井波、城端、福野、福光、井口）に水道水を送る事業をおこなっているそうです。

合口ダムから浄水場に水が送られてきたところ



水道水の流れ

松島浄水場を見学しよう

松島浄水場の見学の計画

松島浄水場の見学の計画

1 見学に行く日　　月　日

2 見てくること

・いろいろな設

・飲み水ができるまでの作業内容

3　聞いてくること

・1日にどれくらいの水が送られるのか

・水を送る地域

・働いている人の人数

・どんなことに気をつけているか

・今、困っていること

気をつけること!

☆浄水場の人のお話をよく聞いて、分からないところはしつもんする。

☆しごとをしている人たちのじゃまをしない。

金魚のいる水そうで、水が安全かどうかたしかめています。

川から取り入れた水がどんどんきれいになっていきます。

水道の水ができるまで

庄川の水は取水口（庄川合口ダム）で取り込まれ、松島浄水場まで流れてきます。そこでごみや砂を取りのぞき、その後さらに細かい砂やごみを取るために、薬をまぜたり消毒したりします。そして、飲み水として適しているかどうか検査をしたうえで、水道水として砺波地域（砺波市、井波、城端、福野、福光、井口）へ送られています。

安全できれいな水を送り続けるために努力しています。

松島浄水場

大切な水を守るためにわたしたちができることを考えてみましょう。

(2) ごみはどこへ

ごみ調べ

家や学校で１週間にどんなごみが出ているのか、どれだけの量のごみが出ているのか調べました。

ごみ調べ

家庭から出たごみを調べてみると、りょう子さんの家では、生ごみ、紙くず、缶、白色トレー、プラスチック製容器、紙製容器、新聞紙が毎日出ていることが分かりました。たかしさんの家では、ペットボトルや段ボール箱も、たくさん出るごみだと分かりました。

お母さんが、「ごみは、もえるごみ、もえないごみ、資源ごみときちんと分別して出す必要があるのよ。」と言いました。そこで、いろいろなごみをどのように始末しているのか調べることにしました。

１週間のごみ調べ

★ 家庭で出たごみの種類に、○をつけてみましょう。　（　　）

	もえるごみ		もえないごみ		しげんごみ									その他
	生ごみ	紙くずなど	金属など	有害ごみ（鏡など）	かん	びん	ペットボトル	白色トレー	プラスチック容器	紙製容器	牛乳パック	新聞紙 雑誌類	段ボール	粗大ごみなど
4日(月)	○	○			○			○	○	○		○		
5日(火)	○	○			○			○	○	○	○	○		
6日(水)	○	○			○			○	○	○		○		
7日(木)	○	○			○			○	○	○		○		
8日(金)	○	○			○			○	○	○		○		
9日(土)	○	○			○		○	○	○	○	○	○		
10日(日)	○	○			○			○	○	○	○	○		

★ 感想（調べてみて、気づいたことや思ったこと）

生ごみや紙くずなどは毎日でているのでよくでるごみだと思いました。
有害ごみやびんはでなかったのでよくでないごみだと分かりました。
これからもごみをいろいろ調べて、よくでるごみやよくでないごみはなにか、
調べていきたいです。

砺波市HP
「家庭ごみ」の
分け方と出し方

ごみのゆくえ

砺波市では、ごみ収集日やごみを出す場所、集めるごみの種類が決まっています。

そこで、ごみステーションへ行って見学しました。ごみを出す日が週に2回(地区によっては3回)、曜日と時間が決められていることが分かりました。

ごみステーション

ごみを出すときのやくそく

ごみ収集車が決められた日の決められた時間にごみを収集していることも分かりました。

ごみ収集車で集められたごみは、クリーンセンターとなみに運ばれます。

クリーンセンターとなみ(砺波市太田)

クリーンセンターとなみを見学しよう

クリーンセンターの見学

☆ クリーンセンターの見学の計画 ☆

名前＿＿＿＿＿＿＿＿

①見学に行く日　　月　日（　）

②見てくること

・ごみの流れ方
・収集車の順路
・それぞれの場所での作業内容

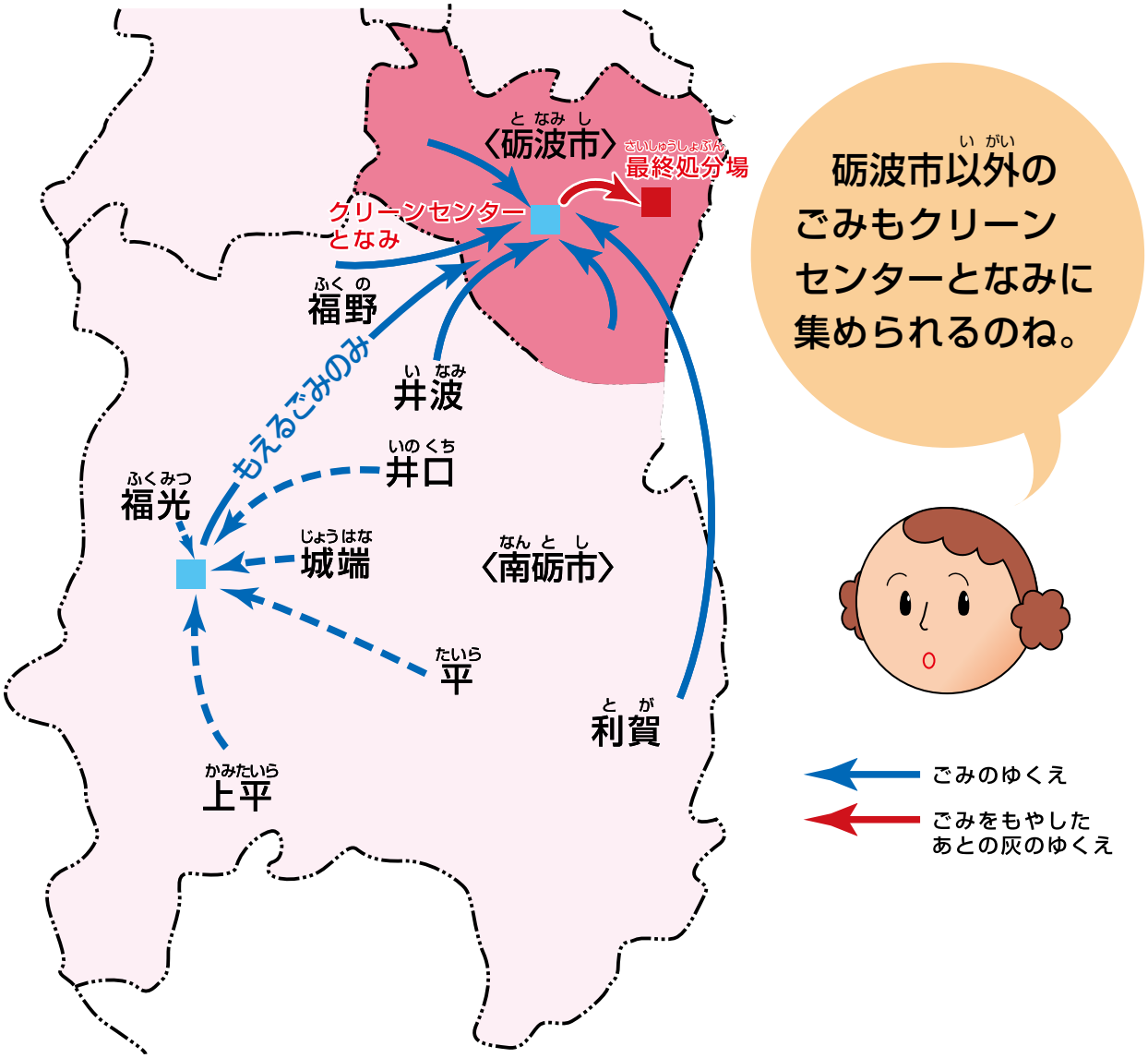
③聞いてくること

・クリーンセンターで処理しているごみの出た地域
・ごみの種類ごとの運ばれる順序
・1日に処理するごみの量
・働いている人の人数
・ごみが燃えて出た灰の行きさき
・ごみを燃やす時に気を付けていることや工夫
・燃えないごみの処理の仕方
・今、困っていること

注意
・クリーンセンターではじゃまにならないよう、静かにする。
・クリーンセンターの人の話をよく聞いて、分からない所は、質問する。
・気付いたことはメモをする。

クリーンセンターとなみに集まるごみはどこからくるのだろう

砺波広域圏の砺波市、南砺市の福野地域、井波地域、利賀地域で出たごみがクリーンセンターとなみに運ばれています。豊かで住みよいまちづくりを行うために、砺波市は、南砺市と協力して取り組みを進めているのです。

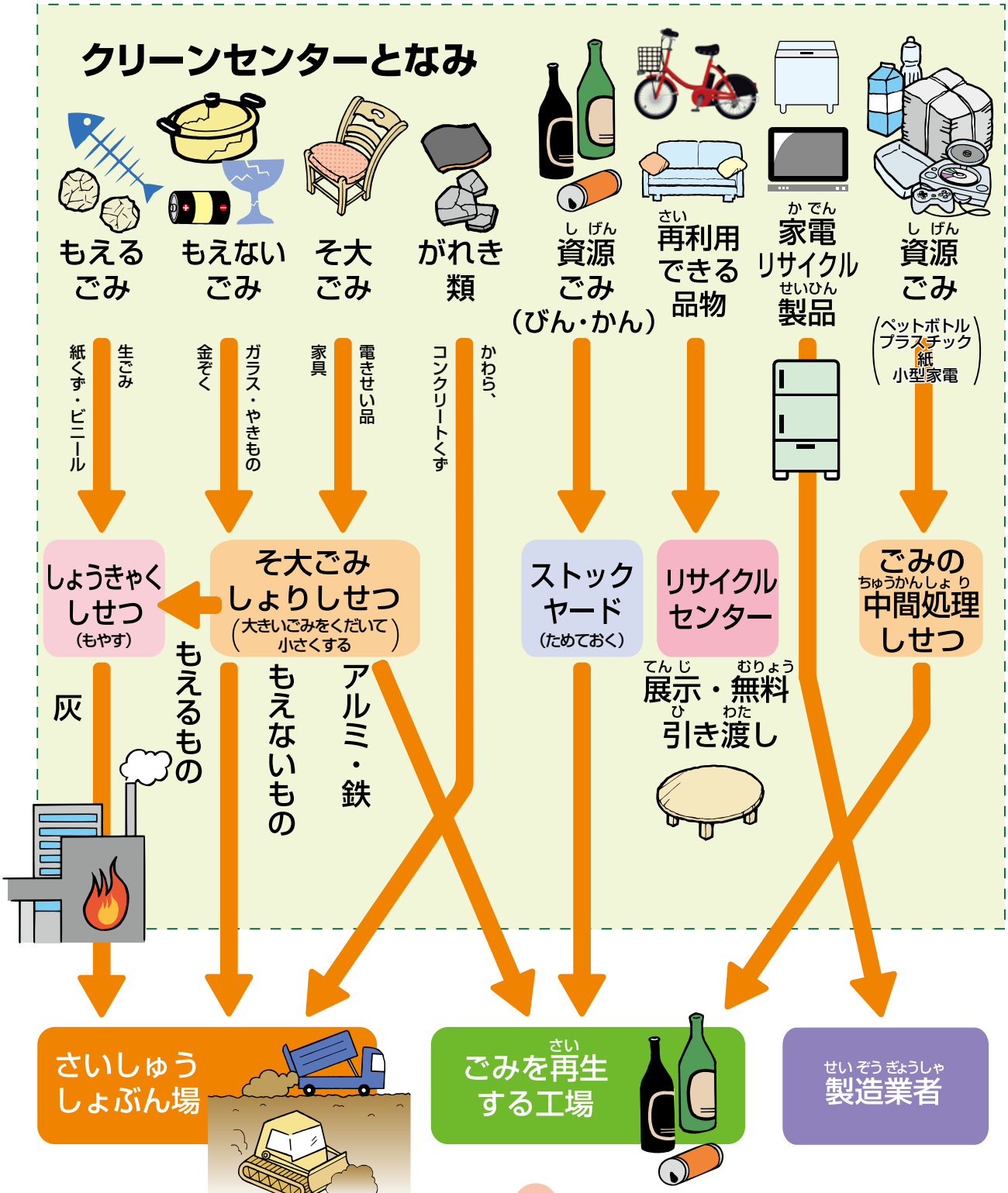


ごみのゆくえ

クリーンセンターでのごみの流れ

クリーンセンターとなみに運ばれてきたごみは分類され、それぞれの処理が行われています。

ごみの流れ



もえるごみのしまつ

ごみピットに入れられたごみは、クレーンでしょうきゃくろに入れられ、800度以上の高温でもやされます。もやされた後に出る灰は、コンベヤで灰をためる場所まで運ばれます。ごみの中に金属などの不燃物が入っていると、機械にはさまってコンベヤを止めてしまうことがあります。

そこで、月に１回、しょうきゃくろの中に人が入って、内側のかべについた灰を手作業で掃除する必要があります。

灰は最終処分場に運ばれ、埋め立てられます。

トラックスケール（受付）

ごみピット

ごみピットの中とごみクレーン

しょうきゃくろ

もえないごみや資源ごみのしまつ

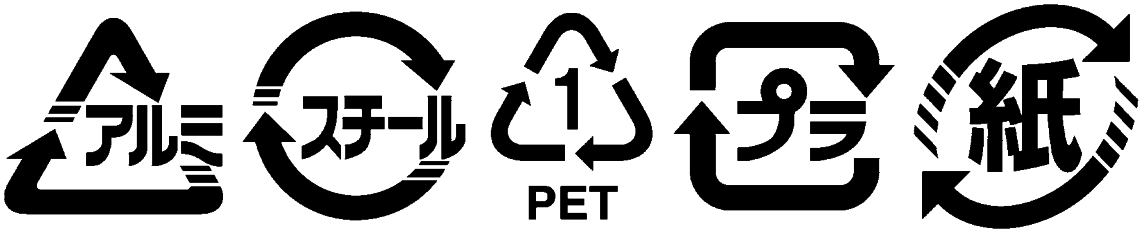
もえないごみは、資源として再生する資源ごみと、再生されないごみの2種類に分けられます。

資源ごみは、缶、びんに分別して、それぞれのコーナーに運ばれます。缶はアルミ缶とスチール缶に、びんは透明、茶色、その他の色といった色ごとにきちんと分別して集められ、資源ごみとして再生工場へ運びやすいようになっていました。再生工場では、使える製品につくり直しているそうです。各地区で集めているペットボトル、プラスチックごみ、紙ごみなどの資源ごみも、再生工場へ運ばれています。

地区ごとの資源回収

資源ごみのストックヤード
（クリーンセンター）

資源ごみについているマークをたしかめてみよう。



最終処分場

そ大ごみしょりしせつで出たもえないものやがれき類は、もえるごみをもやした灰と同じように最終処分場に運ばれ、うめ立てられます。

最終処分場は、アスファルトほそうとシートによってしんしゅつ水が外へ流れ出ないようになっています。しんしゅつ水は、雨や雪がふった後に、灰やがれき類が埋め立てられた場所から出てきた水のことです。このしんしゅつ水は有害なため、しょりしせつでしょりし、安全な水にしてから放流されます。

しょりしたごみを埋め立てるさいしゅうしょぶん場

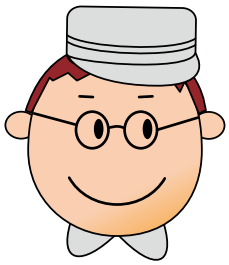
■ごみのうめたて地がなくなる?!

しんしゅつ水しょりしせつ

このままごみを出すと2028年には今の最終処分場がうまって使えなくなり、南砺市につくっている最終処分場に持っていくことになるそうです。

もっとごみの量を少なくすると長く使えます。

ごみが処理できないほど多いと、処分する場所がなくなったり、お金がたくさんかかるようになったりします。



リサイクルセンター

クリーンセンターのおくに、細長い平屋の建物がありました。ここには市民の方が持ち込んだ新聞や雑誌、段ボールの他、ビンやペットボトルといった資源ごみが分けて置いてあります。また、ごみとして持ち込まれた自転車もたくさん置いてあります。少し修理すれば使える自転車は、ほしい人に無料であげているそうです。

少しでもごみを減らす工夫をしたり、物を大事にして使おうとしたりすることは、地球の環境にとってとても大切なことだと思いました。

リサイクルセンター

リサイクルされたもの

自分たちでもやってみよう

こわれたものでも
しゅう理してまた使う。

他の人にあげて、また
使ってもらう。

エコマーク
しげんやエネルギーを大切にする商品についています。

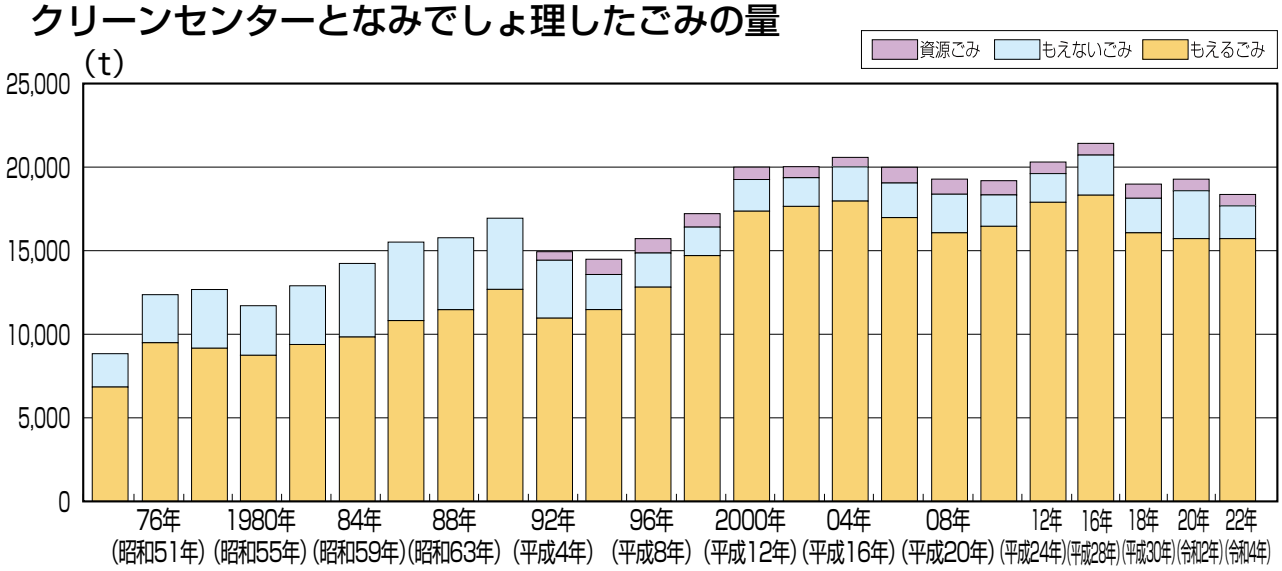
グリーンマーク
さい生紙を使った、ノートやトイレットペーパーなどについています。

エコマークやグリーンマークの入った、リサイクルされたものを使う。

ごみしょりのうつりかわり

あすかさんは、ごみの量やごみしょりのうつりかわりについても聞いてみました。

クリーンセンターとなみでしょ理したごみの量



砺波市やまわりの地区のごみしょ理のうつりかわり

1970年ごろまで	自分の家の庭や空き地でもやしたり、あなをほってうめたりしながらごみしょ理をしていた
1971年（昭和46年）	「清そうセンター」をつくり、砺波市・福野地域・井波地域のもえるごみをもやすようになった。
1972年（昭和47年）	庄川地域のもえるごみも「清そうセンター」でもやすようになった。
～	
1991年（平成3年）	「クリーンセンターとなみ」がつくられ、最新式のせつびでもえるごみをもやすようになった。
1992年（平成4年）	ごみぶくろを有料化した。しげんごみ【スチール・アルミ・ビン】の分別回収を始めた。
1993年（平成5年）	利賀地域のもえるごみも「クリーンセンターとなみ」でもやすようになった。
1996年（平成8年）	「クリーンセンターとなみ」に不ねんそ大ごみしょりしせつができた。
1998年（平成10年）	しげんごみ【ペットボトル】の分別回収を始めた
2001年（平成13年）	最終しょ分場（はいなどのうめ立て地）ができた。しげんごみ【白色トレー】の分別回収を始めた
2005年（平成17年）	砺波市でしげんごみ【紙・プラスチック】の分別回収を始めた。
2006年（平成18年）	福野地域・井波地域・利賀地域でもしげんごみ【紙・プラスチック】の分別回収を始めた。
2010年（平成22年）	砺波市で5月より小型家電の分別回収を始めた。
2017年（平成29年）	砺波市でもえないごみと資源ごみの同日回収を始めた。
2024年（令和6年4月～）	燃えるごみで回収していたプラスチック製品（食器やおもちゃ等）を資源ごみとして回収するようになった。

クリーンセンターの方の話

生活が豊かになり、ごみは年々ふえてきました。しかし、ごみを少なくすることを心がけていればごみはへっていきます。キーワードは「もったいない」という心です。「ごみの分別」を守りましょう。ごみがへれば、地球の資源を守り続けることができます。